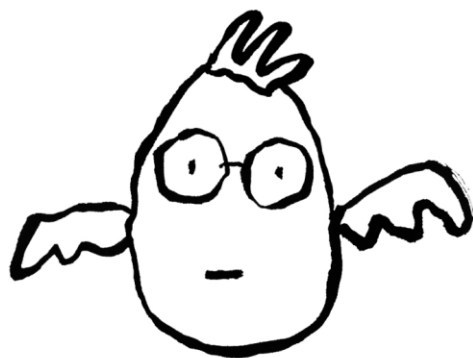


薬害アーカイブズ研究班 事業報告



Masatake HONGO

本郷 正武 Masatake HONGO

桃山学院大学社会学部社会学科 准教授
mhongo@andrew.ac.jp



本調査事業班の概要

- 補助金 厚生労働行政推進調査事業費
- 課題名 薬害資料データ・アーカイブズ
の基盤構築・活用に関する実践
的研究(25KC2015)
- 研究期間 2025年4月～2028年3月
- 研究代表者 本郷 正武(桃山学院大学)
- 研究分担者 佐藤 哲彦(関西学院大学)
矢崎 千華(関東学院大学)



本調査事業の柱

- 薬害研究チーム（研究協力者：堀内暢行）
 - ・薬害資料のアーカイブ化
 - ・既存の薬害関連文献のデータベース化
- 映像チーム
 - ・映像資料の映像社会学的検討
 - ・肖像写真の撮影と制作
- 薬害教育チーム（研究協力者：景山千愛）
 - ・ホームページの管理・運営



薬害研究チーム

■ 薬害資料のアーカイブ化

- ・国際基準での薬害資料の目録化
- ・目録公開に向けたガイドラインの作成

■ 成果発信

- ・本郷 : 世界社会学会フォーラム(7月、ラバト(モロッコ))
- ・堀内 : 世界アーカイブズ学会(11月、バルセロナ(スペイン))

映像チーム

■ 映像資料の検討

- ・当事者主体の制作によるデジタルストーリーテリングの限界と批判
- ・当事者との協働による映像制作へ

■ 成果発信

- ・佐藤 : 証言映像の分析に関する書籍
(今春発行予定)
: 世界社会学会フォーラム(7月、
ラバト(モロッコ))



薬害教育チーム

■ ホームページの管理・運営

- ・研究班ホームページ(薬害ポータルサイト)の英訳化

■ シンポジウム企画

- ・「歴史と現在をつなぐ—薬害エイズから学ぶ市民社会と学問」(関東学院大学社会学部創立10周年記念シンポジウム)の企画(→別紙資料)



本事業のこれからの課題

■ (一社)薬害研究資料館との連携

- ・昭和100年事業での薬害展示への協力
＝パイロット展示の位置づけ
- ・常設展示および移動展示による『グラフィック・ドキュメントスモン』資料展示へ

■ 資料展示のコンセプト設定

- ・さらなる薬害資料のアーカイブ化
- ・資料の精査と公開ガイドライン設定